

2015年5月26日 掲載 輸送経済新聞



武藤 幸規社長

第一貨物

第一貨物（本社・山形市、武藤幸規社長）は今期も、運賃値上げと品質向上を両輪に営業拡大を図る。「従業員の待遇改善へ、運賃の部分では顧

運賃と品質、両輪で 物量は慎重に計画

客に相当お願いをしている。品質もさらに高めていく（武藤社長）。
全体として着実に良くなっている（武藤社長）。
今期も取り組みを押し進める。

前期は消費税の反動から年間を通じて荷動きが停滞する中、過去値下がりが続いてきた運賃水準の復元に向けた交渉を継続した。併せて、品質向上に注力。「革命的に」と号令をかけ、従来以上に役員・従業員の品質意識を促した。（破損事故の前期比半減など）及ばなかつた目標もあるが、
物量は慎重に見込む。
平成二十四～二十六年度の三年間平均に比べ一・一％増を計画する。2015春闘では、運賃値上げで得た原資を元手に、定昇相当分とは別に千二百円以上の賃金引き上げを実施。年末の賞与も大幅に積み増す考えだ。

（矢田 健一郎）